

# 会社説明会

～平成25年3月期～

Yamagata

Miyagi



## 1. 平成25年3月期決算の状況

①損益の状況	… 1
②コア業務純益の増減要因	… 3
③貸出金の状況	… 4
④預金(譲渡性預金を含む)の状況	… 5
⑤預かり資産の状況	… 6
⑥有価証券の状況	… 7
⑦各種利回り・利鞘の状況	… 8
⑧経費の状況	… 9
⑨金融再生法開示債権の状況	…10
⑩自己資本比率の状況	…11
⑪平成26年3月期業績予想	…12

## 2. 両行及びホールディングスの取組みについて

①きらやか銀行のトピックス	… 13
②仙台銀行のトピックス	… 14
③じもとホールディングスのトピックス	… 15

## 3. 平成25年度グループ経営計画

①平成25年度グループ経営計画概要	… 16
②じもとグループとしての特徴づくり	… 17
③じもとグループの特徴づくりに 向けた具体的な取組み	… 18
④じもとグループの内部管理態勢	… 19

【参考】じもとホールディングスの 預貸金状況(平成25年3月末)	… 20
-------------------------------------	------

---

# 1. 平成25年3月期決算の状況

## ①損益の状況

### (1)じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	24年3月期	25年3月期	
		前期比	増減率
連結経常収益	-	33,838	-
連結経常利益	-	2,036	-
連結当期純利益	-	1,950	-

- じもとホールディングスの連結経常収益は338億38百万円、連結経常利益は20億36百万円、連結当期純利益19億50百万円となりました。
- じもとホールディングスの設立に際して、企業結合会計上の取得企業をきらやか銀行としたため、平成25年3月期の連結決算は、きらやか銀行の連結決算を基礎に、仙台銀行の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの連結決算を連結したものとなっております。

### (2)2行合算

(単位:百万円、%)

	24年3月期	25年3月期		
		前期比	増減率	
経常収益	40,545	43,727	3,181	7.8
業務粗利益	31,816	33,937	2,120	6.6
資金利益	30,539	30,436	△102	△0.3
役務取引等利益	2,355	2,738	383	16.2
その他業務利益	△1,078	761	1,839	-
うち国債等債券損益	△1,155	506	1,662	-
経費(除く臨時処理分)	26,734	25,595	△1,139	△4.2
うち人件費	12,494	12,492	△2	△0.0
うち物件費	12,868	11,744	△1,124	△8.7
業務純益(一般貸倒繰入前)	5,082	8,342	3,260	64.1
コア業務純益	6,237	7,835	1,597	25.6
一般貸倒引当金繰入額	646	△734	△1,381	-
業務純益	4,435	9,076	4,641	104.6
臨時損益	△11,051	△5,502	5,548	-
うち不良債権処理額	5,355	2,762	△2,592	△48.4
うち個別貸倒引当金繰入額	4,666	1,158	△3,507	△75.1
うち貸倒引当金戻入益	-	2,130	2,130	-
うち株式等関係損益	△4,363	△498	3,865	-
経常利益	△6,615	3,573	10,189	-
特別損益	△479	△157	321	-
当期純利益	△7,968	3,424	11,392	-
与信関係費用	5,827	△134	△5,962	-

- 2行合算の経常収益は、前期比31億81百万円増加の437億27百万円となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の増加や物件費の減少等により、前期比15億97百万円増加の78億35百万円となりました。
- 経常利益は前期比101億89百万円増加の35億73百万円、当期純利益は前期比113億92百万円増加の34億24百万円となりました。

# ①損益の状況

## (3) きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	24年3月期	25年3月期	増減率	
			前期比	増減率
経常収益	25,278	25,975	697	2.7
業務粗利益	20,258	21,412	1,154	5.6
資金利益	19,708	19,352	△ 356	△ 1.8
役員取引等利益	1,382	1,396	14	1.0
その他業務利益	△ 832	664	1,497	-
うち国債等債券損益	△ 850	414	1,264	-
経費(除く臨時処理分)	15,645	14,890	△ 754	△ 4.8
うち人件費	7,542	7,541	△ 1	△ 0.0
うち物件費	7,382	6,608	△ 774	△ 10.4
業務純益(一般貸倒繰入前)	4,612	6,522	1,909	41.3
コア業務純益	5,463	6,108	644	11.8
一般貸倒引当金繰入額	△ 356	△ 734	△ 377	-
業務純益	4,969	7,256	2,287	46.0
臨時損益	△ 3,333	△ 6,112	△ 2,779	-
うち不良債権処理額	1,700	2,649	948	55.7
うち個別貸倒引当金繰入額	1,236	1,158	△ 78	△ 6.3
うち株式等関係損益	△ 466	△ 112	353	-
経常利益	1,636	1,143	△ 492	△ 30.0
特別損益	△ 163	△ 29	134	-
当期純利益	1,536	1,073	△ 462	△ 30.1
与信関係費用	1,191	1,915	723	60.7

- 経常収益は、貸出金利息が減少したものの、有価証券関係収益が増加したこと等から、前期比6億97百万円増加の25億975百万円(増減率2.7%)の増収となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、物件費の減少等により、前期比6億44百万円増加の61億8百万円(増減率11.8%)の増益となりました。
- 与信関係費用は、前期比7億23百万円増加の19億15百万円となりました。また、事業再生専門子会社による積極的な企業支援に取り組み、子会社による個別貸倒引当金18億95百万円を臨時費用に計上しました。
- この結果、経常利益は前期比4億92百万円減少の11億43百万円、当期純利益は前期比4億62百万円減少の10億73百万円となりました。

## (4) 仙台銀行単体

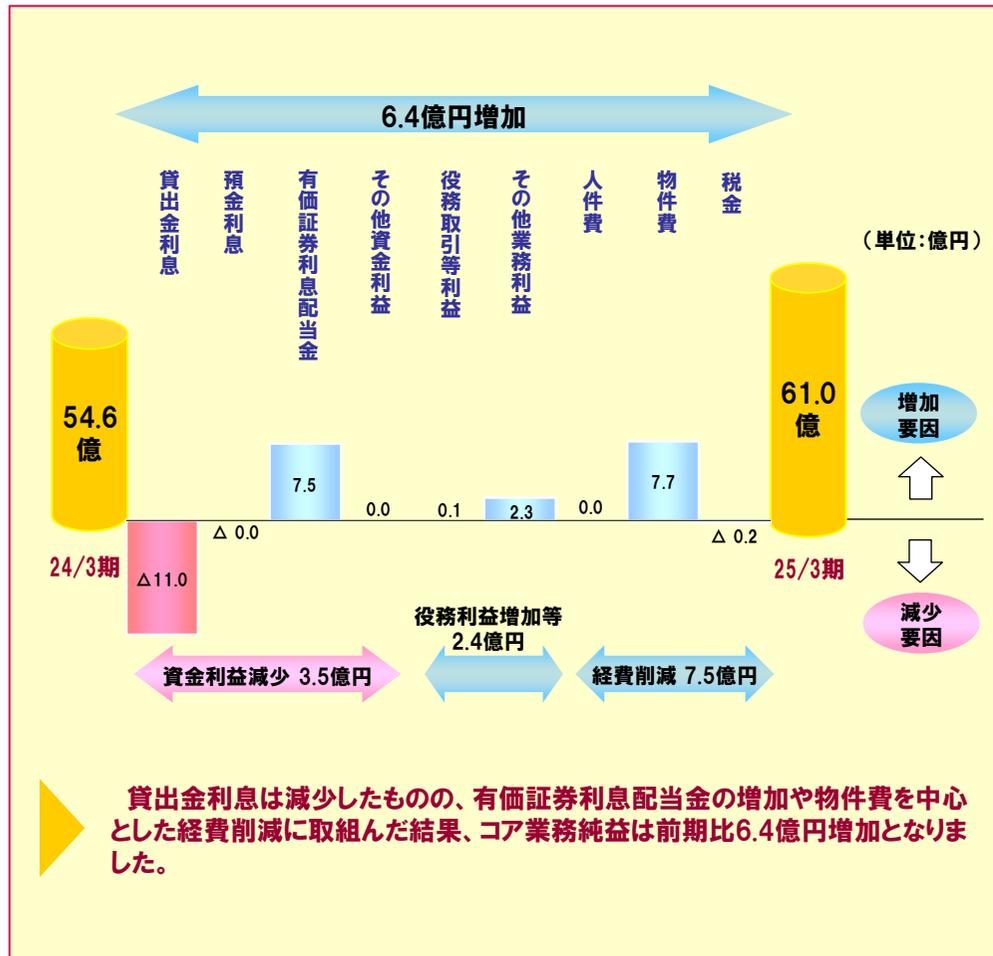
(単位:百万円、%)

	24年3月期	25年3月期	増減率	
			前期比	増減率
経常収益	15,267	17,751	2,483	16.2
業務粗利益	11,558	12,524	965	8.3
資金利益	10,830	11,084	253	2.3
役員取引等利益	973	1,342	369	37.9
その他業務利益	△ 245	97	342	-
うち国債等債券損益	△ 304	92	397	-
経費(除く臨時処理分)	11,089	10,704	△ 384	△ 3.4
うち人件費	4,952	4,951	△ 0	△ 0.0
うち物件費	5,485	5,135	△ 350	△ 6.3
業務純益(一般貸倒繰入前)	469	1,820	1,350	287.6
コア業務純益	774	1,727	952	123.0
一般貸倒引当金繰入額	1,003	-	△ 1,003	-
業務純益	△ 533	1,820	2,353	-
臨時損益	△ 7,718	609	8,328	-
うち不良債権処理額	3,654	112	△ 3,541	△ 96.9
うち個別貸倒引当金繰入額	3,429	-	△ 3,429	-
うち貸倒引当金戻入益	-	2,130	2,130	-
うち株式等関係損益	△ 3,896	△ 385	3,511	-
経常利益	△ 8,251	2,429	10,681	-
特別損益	△ 315	△ 128	187	-
当期純利益	△ 9,504	2,350	11,855	-
与信関係費用	4,636	△ 2,049	△ 6,686	-

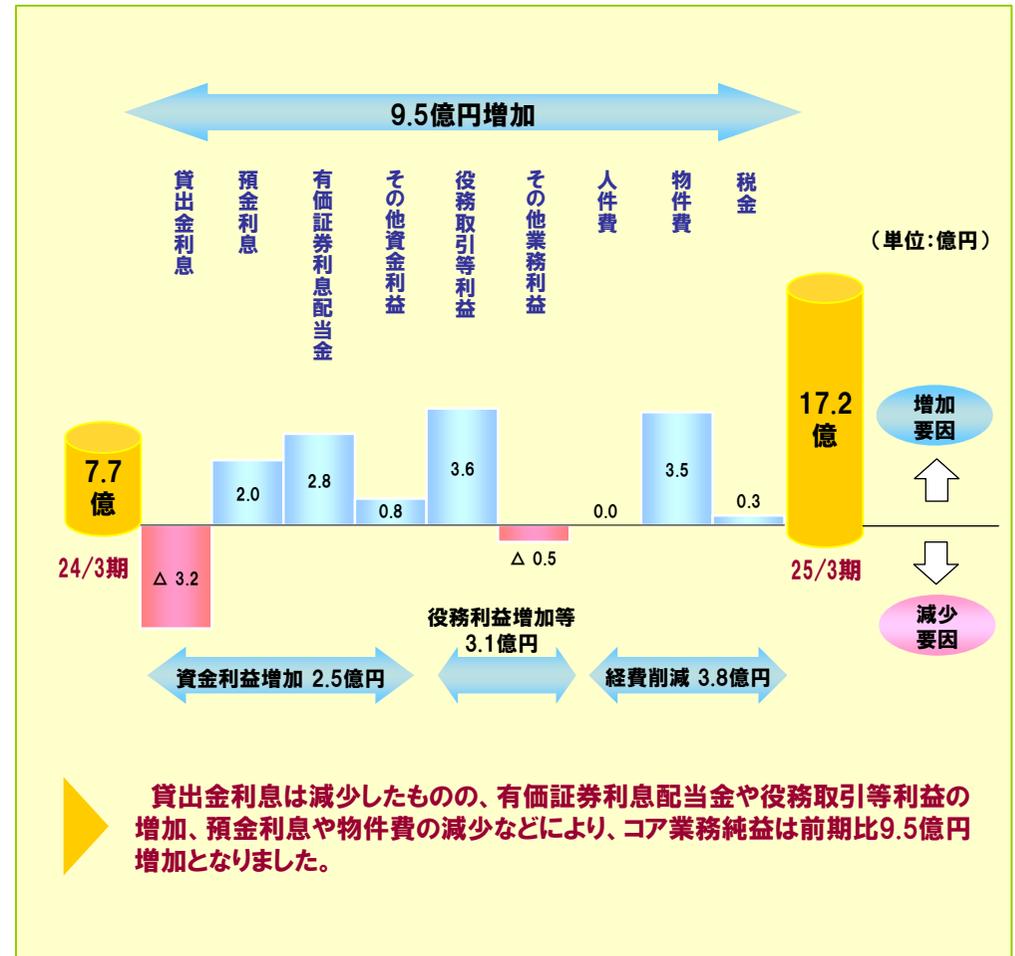
- 経常収益は、有価証券利息配当金及び役員取引等収益の増加、貸倒引当金戻入益の計上等により、前期比24億83百万円増加の17億751百万円(増減率16.2%)の増収となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益及び役員取引等利益の増加や物件費の減少などから、前期比9億52百万円増加の17億27百万円(増減率123.0%)の増益となりました。
- 与信関係費用は、貸倒引当金戻入益21億30百万円の計上により、前期比66億86百万円減少の20億49百万円の戻入れとなりました。
- この結果、経常利益は、前期比106億81百万円増加の24億29百万円、当期純利益は前期比118億55百万円増加の23億50百万円となりました。

## ②コア業務純益の増減要因

(1) きらやか銀行

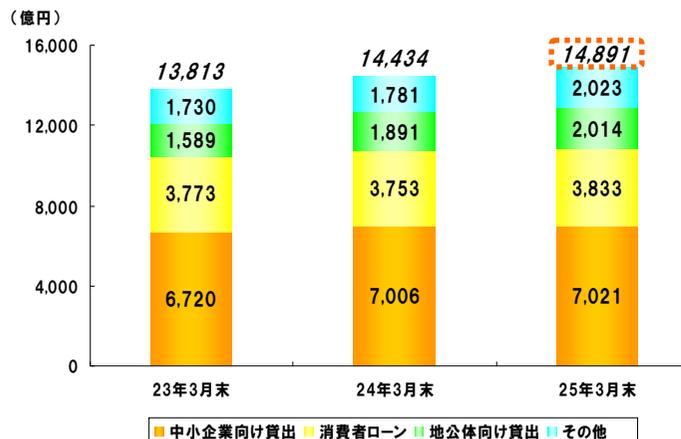


(2) 仙台銀行

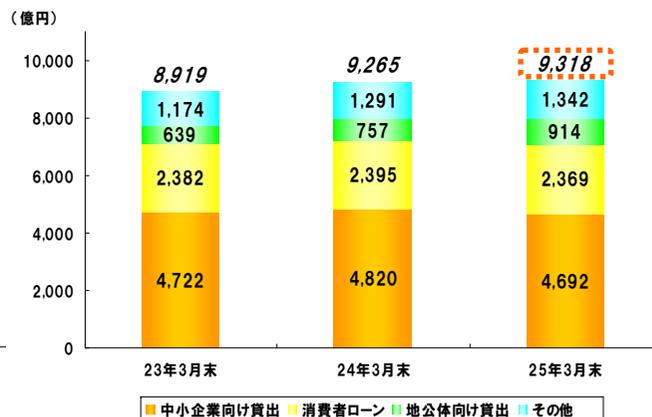


### ③貸出金の状況

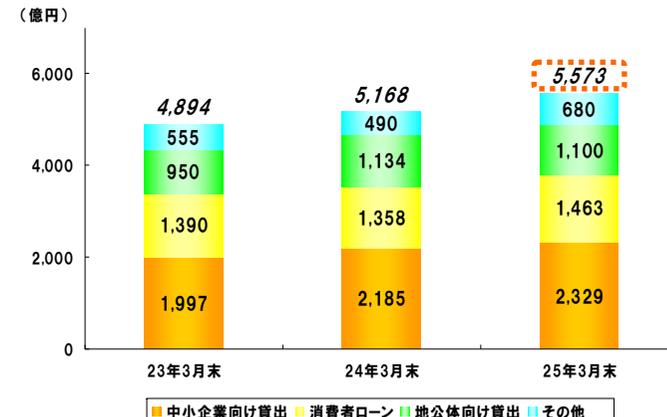
(1) 2行合算



(2) きらやか銀行



(3) 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
貸出金(末残)	1,443,449	1,489,194	45,745	3.1
うち中小企業向け貸出残高	700,689	702,127	1,437	0.2
うち消費者ローン	375,397	383,304	7,907	2.1
うち住宅ローン	352,662	360,708	8,045	2.2
うち地方公共団体向け貸出	189,180	201,462	12,282	6.4

(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
貸出金(末残)	926,593	931,867	5,273	0.5
うち中小企業向け貸出残高	482,098	469,212	△ 12,885	△ 2.6
うち消費者ローン	239,579	236,984	△ 2,595	△ 1.0
うち住宅ローン	227,254	224,623	△ 2,631	△ 1.1
うち地方公共団体向け貸出	75,735	91,410	15,675	20.6

(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
貸出金(末残)	516,856	557,327	40,471	7.8
うち中小企業向け貸出残高	218,591	232,914	14,323	6.5
うち消費者ローン	135,817	146,320	10,503	7.7
うち住宅ローン	125,408	136,085	10,677	8.5
うち地方公共団体向け貸出	113,445	110,052	△ 3,392	△ 2.9

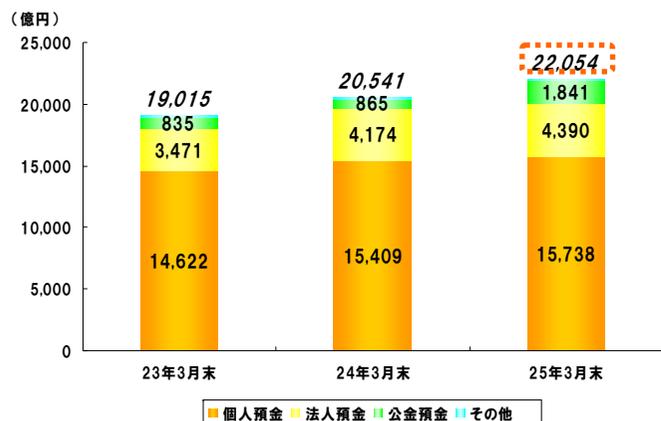
○ 2行合算の貸出金残高は、前年比457億45百万円増加の1兆4,891億94百万円となりました。

- 貸出金残高は、前年比52億73百万円増加の9,318億67百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、前年比128億85百万円減少の4,692億12百万円となりましたが、主要要因としては24年5月にきらやか銀行100%子会社である「きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)」へ貸出債権125億59百万円を移管したためであります。
- 消費者ローンは、前年比25億95百万円減少の2,369億84百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、前年比156億75百万円増加の914億10百万円となりました。

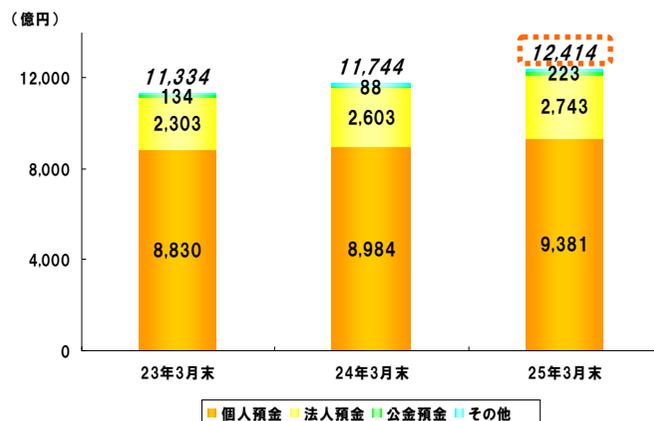
- 貸出金残高は、前年比404億71百万円増加の5,573億27百万円となりました。
- 中小企業向け貸出は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要に積極的に対応してきたことから、前年比143億23百万円増加の2,329億14百万円となりました。
- 消費者ローンは、住宅ローン貸出残高の増加により、前年比105億3百万円増加の1,463億20百万円となりました。
- 地方公共団体向け貸出は、前年比33億92百万円減少の1,100億52百万円となりました。

## ④預金(譲渡性預金を含む)の状況

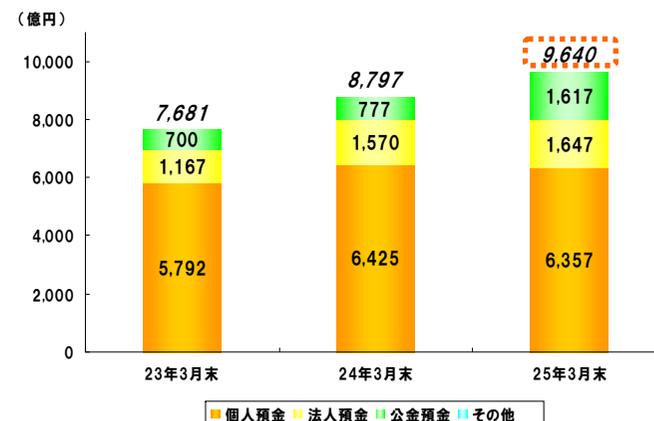
(1) 2行合算



(2) きらやか銀行



(3) 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,054,198	2,205,421	151,222	7.3
うち個人預金	1,540,997	1,573,853	32,856	2.1
うち法人預金	417,460	439,090	21,630	5.1
うち公金預金	86,535	184,105	97,570	112.7

(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,174,490	1,241,410	66,919	5.6
うち個人預金	898,409	938,140	39,731	4.4
うち法人預金	260,386	274,319	13,933	5.3
うち公金預金	8,824	22,353	13,529	153.3

(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
預金(譲渡性預金含む)(末残)	879,707	964,011	84,303	9.5
うち個人預金	642,588	635,713	△ 6,875	△ 1.0
うち法人預金	157,074	164,771	7,696	4.9
うち公金預金	77,711	161,751	84,040	108.1

○ 2行合算の預金残高は、前年比1,512億22百万円増加の2兆2,054億21百万円となりました。

○ 預金残高は、個人・法人・公金全ての預金が増加したことにより、前年比669億19百万円増加の1兆2,414億10百万円となりました。

○ 個人預金は、経営統合記念で実施したキャンペーン預金やインターネット支店の震災復興定期への預入増加により、前年比397億31百万円増加の9,381億40百万円となりました。

○ 法人預金は、震災以降、企業の手元流動性預金が増加していること等から、前年比139億33百万円増加の2,743億19百万円となりました。

○ 公金預金は、前年比135億29百万円増加の223億53百万円となりました。

○ 預金残高は、公金預金や法人預金の増加により、前年比843億3百万円増加の9,640億11百万円となりました。

○ 個人預金は、被災者の住宅修繕など復興資金としての払出しや預かり資産への移行などにより、前年比68億75百万円減少の6,357億13百万円となりました。

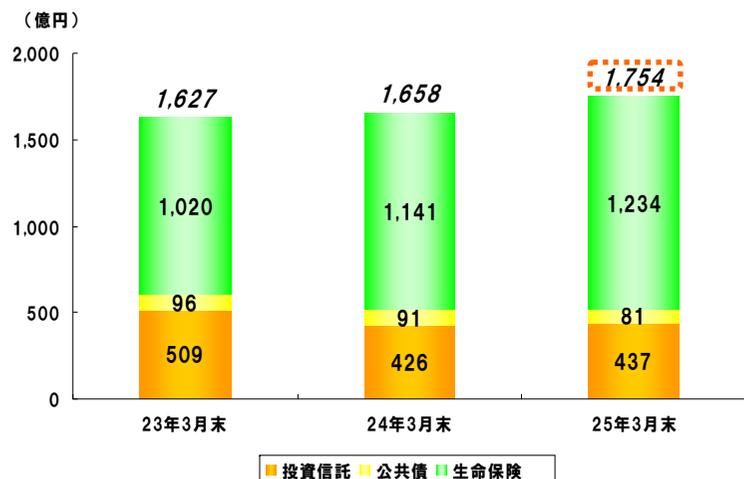
○ 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、前年比76億96百万円増加の1,647億71百万円となりました。

○ 公金預金は、前年比840億40百万円増加の1,617億51百万円となりました。



## ⑤預かり資産の状況

(1) きらやか銀行



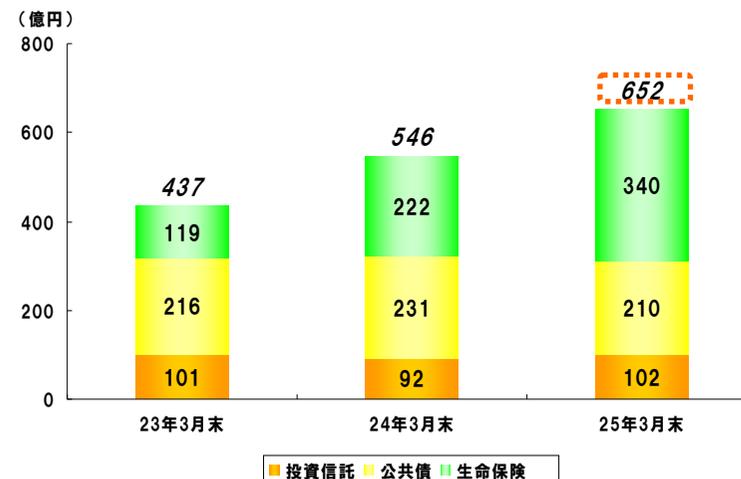
(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	165,897	175,408	9,511	5.7
うち投資信託	42,614	43,740	1,125	2.6
うち公共債(国債等)	9,110	8,188	△ 922	△ 10.1
うち生命保険	114,172	123,479	9,307	8.1

(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 預かり資産残高は、前年比95億11百万円増加の1,754億8百万円となりました。
- 投資信託は、株式市場が回復傾向にあり、基準価額が上昇したこと等から、前年比11億25百万円増加の437億40百万円となりました。
- 公共債は、前年比9億22百万円減少の81億88百万円となりました。
- 生命保険は、安定志向にあるお客様ニーズを取り込んだこと等から、前年比93億7百万円増加の1,234億79百万円となりました。

(2) 仙台銀行



(単位:百万円、%)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比	増減率
預かり資産(末残)	54,649	65,287	10,637	19.4
うち投資信託	9,227	10,248	1,021	11.0
うち公共債(国債等)	23,162	21,005	△ 2,157	△ 9.3
うち生命保険	22,259	34,032	11,772	52.8

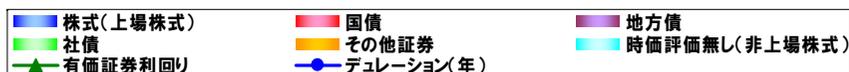
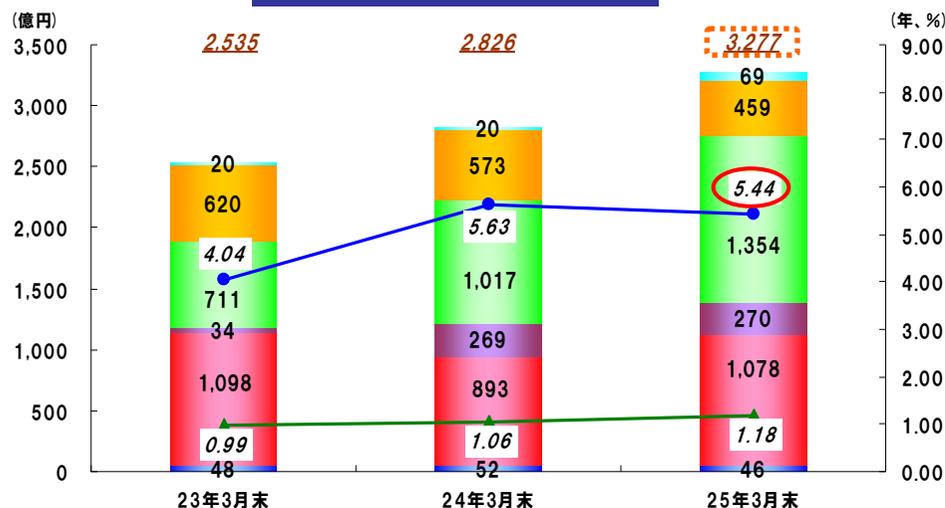
(注)生命保険残高は、成約累計残高としており、解約分は考慮していません。

- 預かり資産残高は、生命保険の増加により、前年比106億37百万円増加の652億87百万円となりました。
- 投資信託は、株式市場が回復傾向にあり、基準価額が上昇したこと等から、前年比10億21百万円増加の102億48百万円となりました。
- 公共債は、前年比21億57百万円減少の210億5百万円となりました。
- 生命保険は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により、前年比117億72百万円増加の340億32百万円となりました。

## ⑥ 有価証券の状況

### (1) きらやか銀行

有価証券ポートフォリオの推移



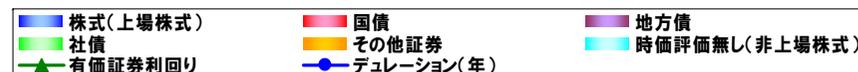
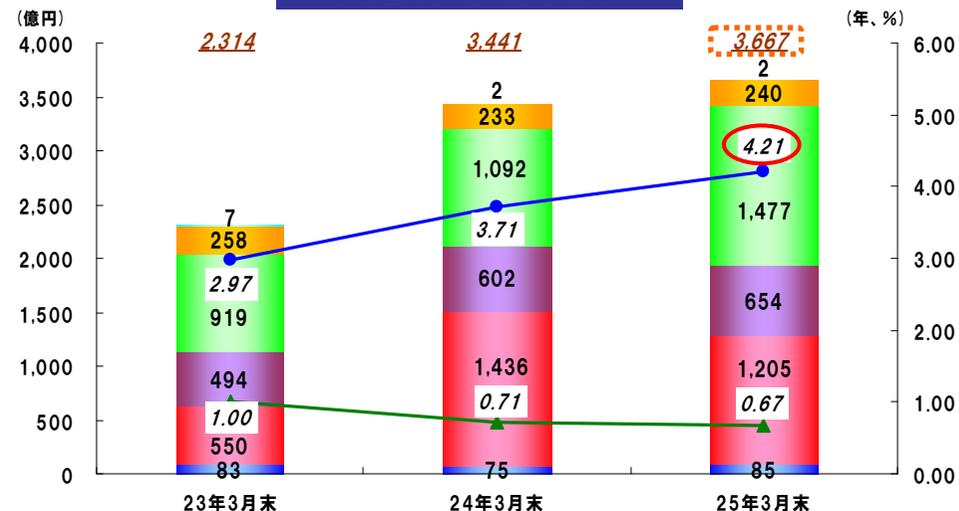
その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比
その他有価証券	△ 149	3,794	3,943
株式	△ 99	293	393
債券	1,637	4,363	2,725
その他	△ 1,686	△ 862	824

- 有価証券残高は、預金残高が増加したことに伴い、債券を中心に運用したことから、前年比451億41百万円増加の3,277億94百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い前年比39億43百万円改善し、37億94百万円の評価益となりました。
- 保有債券のデュレーション(固定債のみ) 5.44年(前年比▲0.19年)

### (2) 仙台銀行

有価証券ポートフォリオの推移



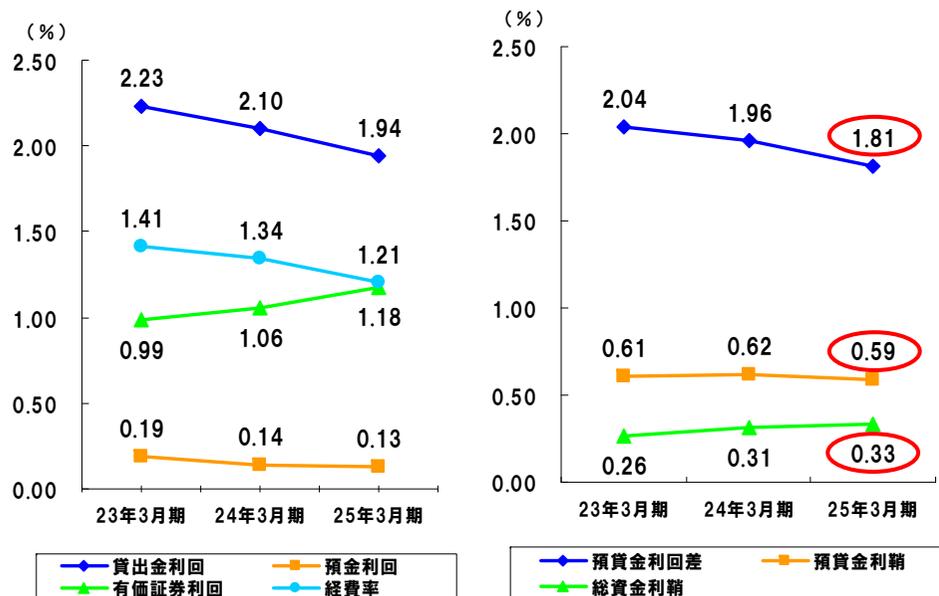
その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	24年3月末	25年3月末	24年3月末比
その他有価証券	2,544	7,451	4,907
株式	176	1,624	1,448
債券	3,009	5,534	2,525
その他	△ 641	291	932

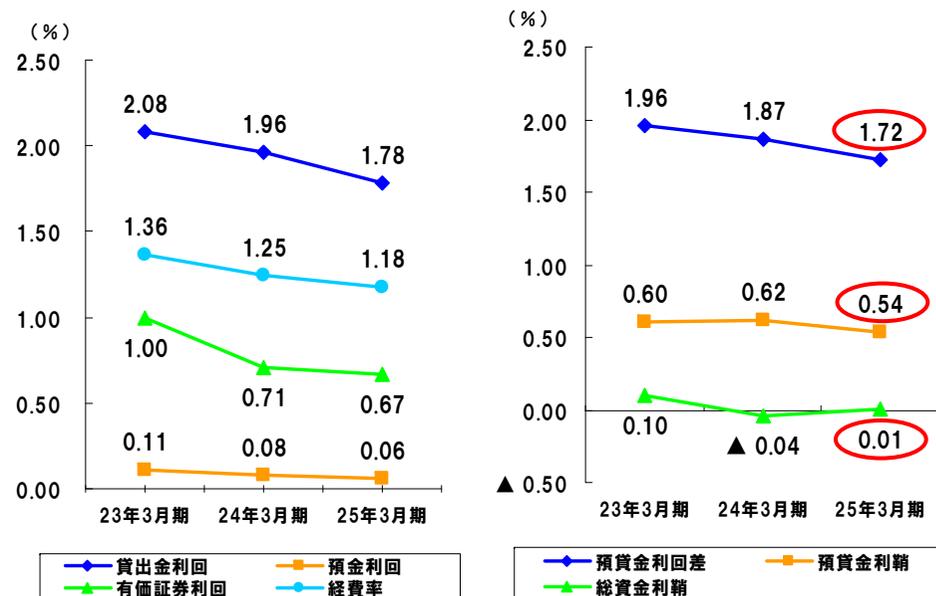
- 有価証券残高は、預金残高の増加に伴い社債や地方債等による運用額を増加したことなどから、前年比225億49百万円増加の3,667億21百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、市場の回復に伴い前年比49億7百万円改善し、74億51百万円の評価益となりました。
- 保有債券のデュレーション(固定債のみ) 4.21年(前年比+0.50年)

## ⑦各種利回り・利鞘の状況

(1) きらやか銀行



(2) 仙台銀行



- 預貸金利回差 1.81%(前期比0.15p低下)  
市場金利の低下により基準金利が引き下げとなり、預金・貸出金ともに利回りが低下しました。預金利回りの低下(0.01p)を貸出金利回の低下(0.16p)が上回ったことで前期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.59%(前期比0.03p低下)  
預貸金利回差が縮小したものの、経費の減少により、前期比わずかな低下に留まりました。
- 総資金利鞘 0.33%(前期比0.02p上昇)  
預貸金利鞘は低下したものの、有価証券利回りの上昇により、前期比プラスとなりました。

- 預貸金利回差 1.72%(前期比0.15p低下)  
市場金利の低下により基準金利が引き下げとなり、預金・貸出金ともに利回りが低下しました。預金利回りの低下(0.02p)を貸出金利回の低下(0.18p)が上回ったことで前期比低下となりました。
- 預貸金利鞘 0.54%(前期比0.08p低下)  
預貸金利回差の縮小により、前期比マイナスとなりました。
- 総資金利鞘 0.01%(前期比0.05p上昇)  
資金運用利回りの低下を資金調達原価の低下が上回ったため、前期比プラスとなりました。

## ⑧経費の状況

(1) きらやか銀行



(単位:百万円)

	23年3月末	24年3月末	25年3月末
一人当たり預金	1,227	1,260	1,339
一人当たり貸出金	965	994	1,005
一店舗当たり預金	13,993	14,681	15,518
一店舗当たり貸出金	11,012	11,582	11,648
店舗数(店)	81	80	80
行員数(人)	924	932	927

※店舗数については、ランチ・イン・ランチ実施店を1店舗として計上。  
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、物件費を中心とした経費削減に努めたことにより、前期比7億54百万円減少の148億90百万円となりました。
- コアOHRは経費の減少等により、前期比3.2ポイント低下の70.91%となりました。

(2) 仙台銀行



(単位:百万円)

	23年3月末	24年3月末	25年3月末
一人当たり預金	1,016	1,180	1,344
一人当たり貸出金	647	693	777
一店舗当たり預金	10,819	14,189	15,803
一店舗当たり貸出金	6,893	8,336	9,136
店舗数(店)	71	62	61
行員数(人)	756	745	717

※店舗数については、ランチ・イン・ランチ実施店を1店舗として計上。  
※行員数は、正行員数で出向者を除く

- 経費は、物件費の節減に努めたことなどから、前期比3億84百万円減少の107億4百万円となりました。
- コアOHRは経費が減少したほか、コア業務粗利益が増加したため、前期比7.37ポイント低下の86.10%となりました。

## ⑨金融再生法開示債権の状況

### (1) 2行合算

金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	24年 3月末比	24年 9月末比
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,899	9,739	8,692	△ 2,207
危険債権	66,587	52,049	50,072	△ 16,514	△ 1,977
要管理債権	4,477	4,854	4,634	157	△ 220
合計(A)	81,964	66,643	63,399	△ 18,565	△ 3,244
正常債権	1,381,485	1,404,773	1,446,288	64,802	41,515
総与信額(B)	1,463,450	1,471,416	1,509,687	46,236	38,270
(A/B)	5.60	4.52	4.19	△ 1.41	△ 0.33

- 2行合算の金融再生法開示債権残高は、前年比185億6300万円減少の633億9900万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、前年比1.41ポイント低下の4.19%となりました。

### (2) きらやか銀行

金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	24年 3月末比	24年 9月末比
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,135	5,353	4,704	△ 1,430
危険債権	40,507	26,440	26,730	△ 13,777	289
要管理債権	4,091	4,339	4,164	73	△ 175
合計(A)	50,734	36,133	35,599	△ 15,135	△ 534
正常債権	892,215	901,487	913,725	21,509	12,238
総与信額(B)	942,949	937,620	949,324	6,374	11,703
(A/B)	5.38	3.85	3.74	△ 1.64	△ 0.11

- 金融再生法開示債権の残高は、24年5月にきらやか銀行100%子会社である「きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)」へ貸出債権125億5900万円を移管したこと等から、前年比151億3500万円減少の355億9900万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、前年比1.64ポイント低下の3.74%となりました。きらやかターンアラウンド・パートナーズ(株)も含めた比率は前年比1.15ポイント低下の4.23%となりました。

### (3) 仙台銀行

金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	24年 3月末比	24年 9月末比
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,764	4,385	3,987	△ 777
危険債権	26,079	25,609	23,342	△ 2,736	△ 2,266
要管理債権	385	515	469	83	△ 45
合計(A)	31,230	30,510	27,799	△ 3,430	△ 2,710
正常債権	489,270	503,285	532,562	43,292	29,276
総与信額(B)	520,500	533,796	560,362	39,861	26,566
(A/B)	6.00	5.71	4.96	△ 1.04	△ 0.75

- 金融再生法開示債権残高は、復興需要に伴い一部取引先のランクアップや約定返済などから、前年比34億3000万円減少の277億9900万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、前年比1.04ポイント低下の4.96%となりました。

金融再生法開示債権の保全状況(25年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,692	8,692	5,594	3,098	100.00
危険債権	50,072	42,195	35,315	6,880	84.26
要管理債権	4,634	1,101	673	427	23.76
合計	63,399	51,989	41,583	10,406	82.00

- 2行合算の金融再生法開示債権の保全率は、82.00%となりました。

金融再生法開示債権の保全状況(25年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,704	4,704	2,663	2,041	100.00
危険債権	26,730	20,781	17,358	3,422	77.74
要管理債権	4,164	817	447	370	19.64
合計	35,599	26,304	20,469	5,834	73.88

- きらやか銀行の金融再生法開示債権の保全率は、73.88%となりました。

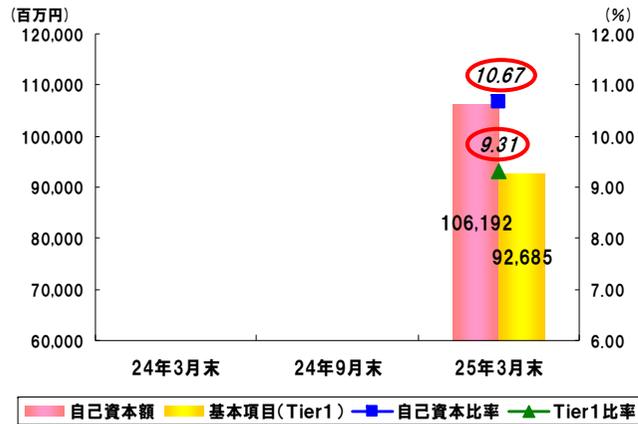
金融再生法開示債権の保全状況(25年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額(A)	保全額(B)	保全率(B/A)		
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,987	3,987	2,930	1,056	100.00
危険債権	23,342	21,414	17,956	3,457	91.74
要管理債権	469	283	226	57	60.31
合計	27,799	25,685	21,113	4,571	92.39

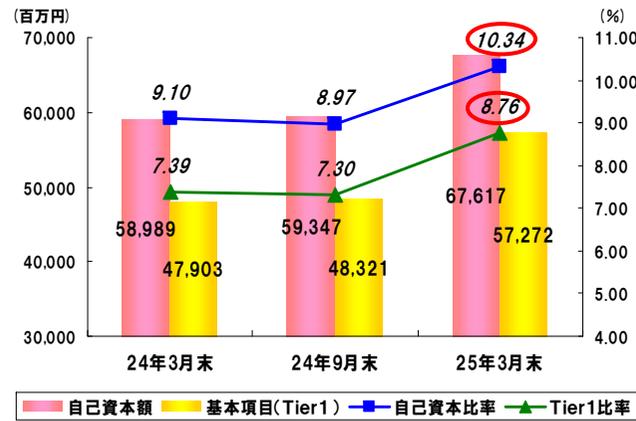
- 仙台銀行の金融再生法開示債権の保全率は、92.39%となりました。

# ⑩自己資本比率の状況

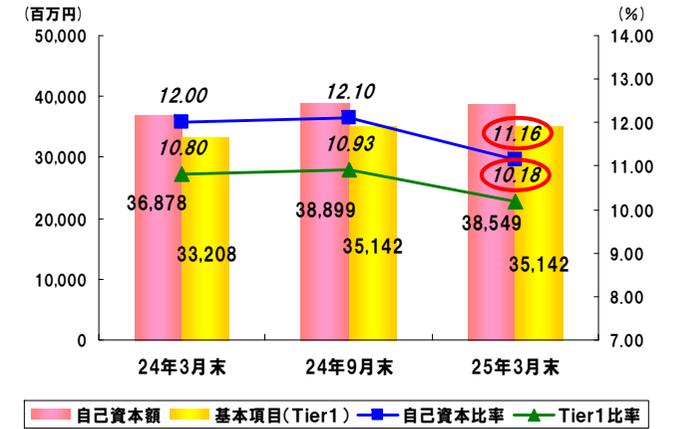
(1)じもとホールディングス連結



(2)きらやか銀行



(3)仙台銀行



(単位:%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	24年3月末比	24年9月末比
	連結自己資本比率	-	-	10.67	-
Tier1比率	-	-	9.31	-	-

(単位:%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	24年3月末比	24年9月末比
	単体 自己資本比率	9.10	8.97	10.34	1.24
単体 Tier1比率	7.39	7.30	8.76	1.37	1.46
連結 自己資本比率	9.13	9.12	10.53	1.40	1.41
連結 Tier1比率	7.39	7.44	8.93	1.54	1.49

(単位:%)

	24年3月末	24年9月末	25年3月末	24年3月末比	24年9月末比
	単体 自己資本比率	12.00	12.10	11.16	△ 0.84
単体 Tier1比率	10.80	10.93	10.18	△ 0.62	△ 0.75
連結 自己資本比率	11.80	11.91	11.00	△ 0.80	△ 0.91
連結 Tier1比率	10.42	10.57	9.85	△ 0.57	△ 0.72

○ じもとホールディングスの連結自己資本比率は10.67%、Tier1比率は9.31%となりました。

○ 単体自己資本比率はリスクアセットは増加したものの、24年12月に震災特例の金融機能強化法に基づく資本増強を実施したことから、前年比1.24ポイント上昇し10.34%となりました。

○ 単体自己資本比率は、当期純利益23億50百万円の計上により自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、前年比0.84ポイント低下の11.16%となりました。

## ⑪平成26年3月期業績予想

### (1) じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

	平成26年3月期		(参考) 平成25年3月期 実績	年間配当金			
	平成26年3月期	中間期		基準日	第2四半期末	期末	合計
経常利益	2,900	800	2,036	配当予想	2円00銭	2円00銭	4円00銭
当期純利益	2,500	600	1,950	(参考)平成25年3月期	-	1円50銭	1円50銭

- じもとホールディングスの平成26年3月期の連結業績予想は、経常利益29億円、当期純利益25億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの平成25年3月期の1株当たりの期末配当は1.5円としております。  
また、平成26年3月期の年間配当金は4円を予定しております。

### (2) 子銀行の個別業績予想

#### きらやか銀行

	平成26年3月期		(参考) 平成25年3月期 実績
	平成26年3月期	中間期	
経常利益	2,200	700	1,143
当期純利益	2,000	600	1,073

#### 仙台銀行

	平成26年3月期		(参考) 平成25年3月期 実績
	平成26年3月期	中間期	
経常利益	900	200	2,429
当期純利益	800	100	2,350

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益22億円、当期純利益20億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益9億円、当期純利益8億円を見込んでおります。

---

## 2. 両行及びホールディングスの取組みについて

# ①きらやか銀行のトピックス ～本業支援の取組み～

## 本業支援とは

「アクティブリスニング(お客様と話し、事業ニーズをお聴きする)」を行い、共に課題を解決して行くための**組織的、継続的な活動**であり、法人戦略の最重点施策であります。

## 本業支援の実績

	平成24年度			平成23年度
	上期	下期		
アクティブリスニング件数(※1)	11,678	8,061	3,617	10,065
本業支援成約件数	4,061	2,045	2,016	3,100
融資実行件数	1,617	827	790	1,553
融資実行金額	784億円	346億円	437億円	649億円

※1 平成24年度下期より、具体的な事業ニーズを聴き、アクションプランを策定した件数をカウントしているため前期より件数が減少しております。



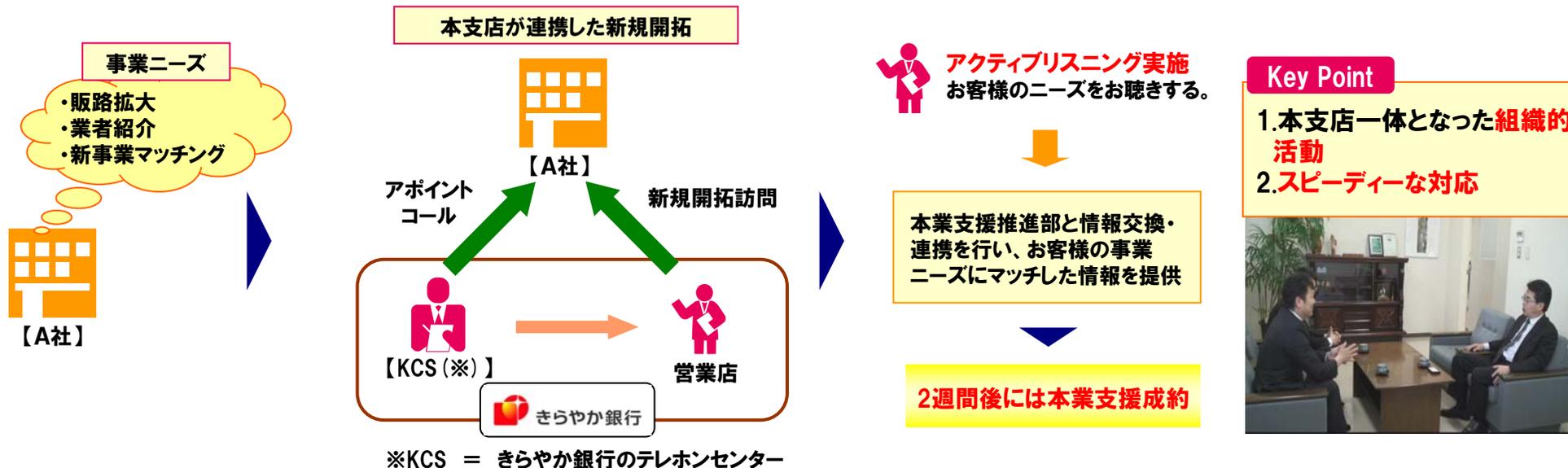
企業の数だけ 想いがあり、企業の数だけ 喜びがある。

想いを形に「本業支援」

これからも、私たちの願いは  
地域の企業の皆さまと共に生きること。



## 本業支援の具体的取組み

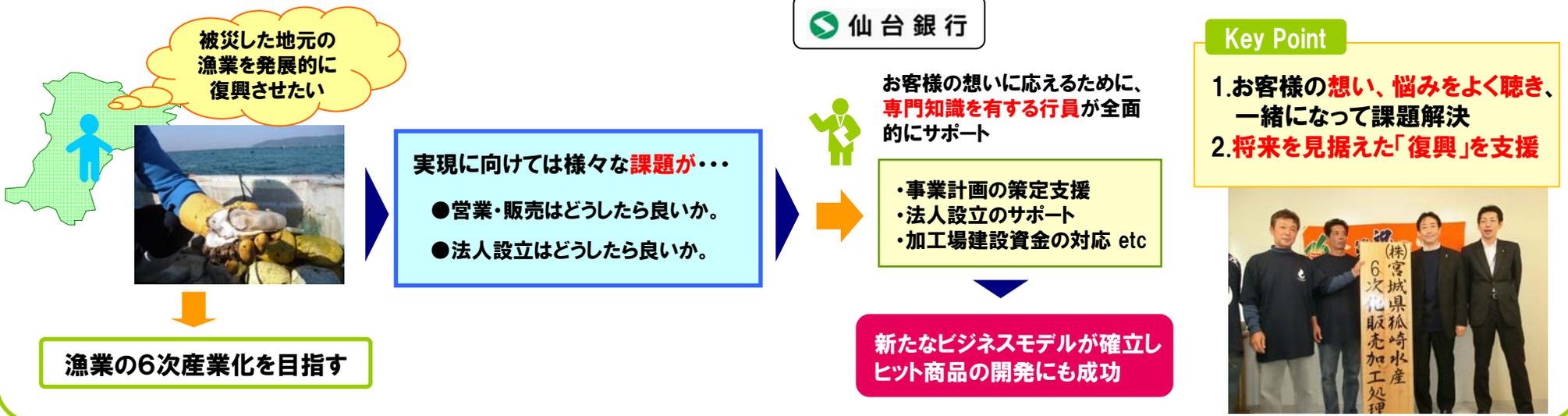


## ②仙台銀行のトピックス ～東日本大震災からの復興に向けた取組み～

### 復興支援の実績

	平成24年度上期		平成24年度下期		平成24年度合計	
	先・件数	金額	先・件数	金額	先・件数	金額
被災者向け新規融資実行	483先	102億円	579先	199億円	1,062先	302億円
うち事業性資金	263先	100億円	386先	157億円	649先	258億円
うち消費性資金(住宅ローン等)	220先	24億円	193先	19億円	413先	44億円
きらやか銀行との協調・紹介融資実行	-	-	5件	21億円	5件	21億円
第一次産業向け融資(農業・水産業)実行	8件	1億円	15件	5億円	23件	7億円
宮城産業復興機構の活用	6件	/	4件	/	10件	/
東日本大震災事業者再生支援機構の活用	1件		13件		14件	
私的整理ガイドラインの活用	-		7件		7件	

### 復興支援に向けた具体的取組み



### ③じもとホールディングスのトピックス ～宮城と山形をつなぐビジネスマッチングの取組み～

#### ビジネスマッチング実績(きらやか⇄仙台)

	平成24年度		
	上期	下期	合計
情報登録件数	14	106	120
紹介件数	5	62	67
成約件数	-	14	14

#### ビジネスマッチングの主な事例

- 復興工事の共同事業者として山形県の建設会社を紹介
- 復興住宅需要の増加に伴い、山形県の工務店を下請業者として紹介
- 復興工事に携わる山形県の企業に対して、宮城県における長期宿泊施設を紹介
- 県外への販路拡大を検討している山形県の葬祭贈答品販売業者に宮城県の葬儀業者を紹介

#### ビジネスマッチング成約までの流れ



#### STEP1

山形県への販路拡大を検討しているお客様の事業ニーズをお聴きし、仙台銀行の営業店はきらやか銀行を通じた業者の紹介を提案。

#### STEP2

支店からの情報を地元企業応援部の情報コーディネーターがきらやか銀行へつなぎ、本業支援推進部の情報コーディネーターが、きらやか銀行の全営業店に情報を発信。

#### STEP3

きらやか銀行は、複数のお客様へスピーディーに情報を紹介し、興味を示したお客様を本部を通じて仙台銀行へと提供。その後、お客様同士を紹介した結果、商談が成立した。

#### Key Point

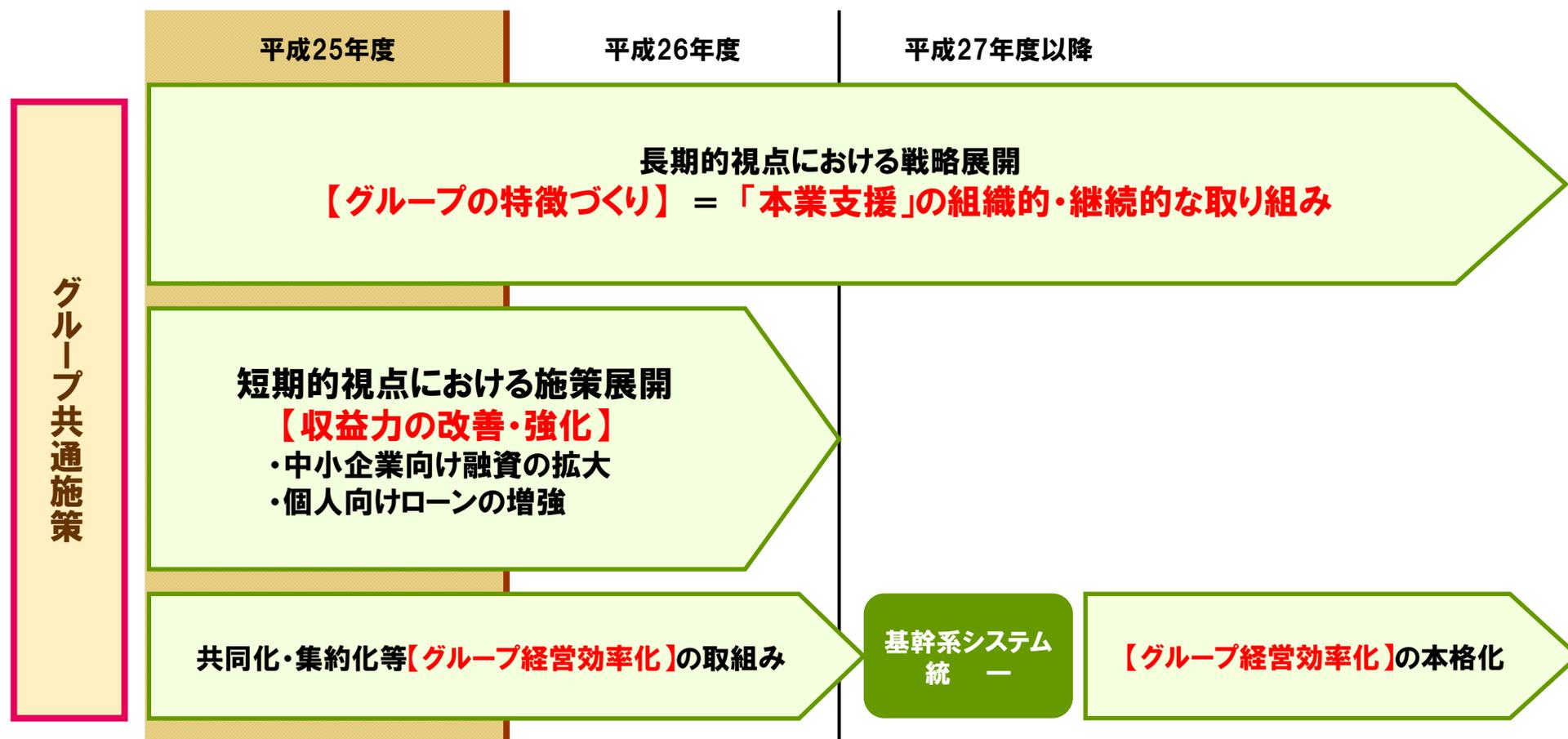
1. 両行が連携した豊富な情報量の紹介
2. 本支店が一体となったスピーディーな対応

---

### 3. 平成25年度グループ経営計画

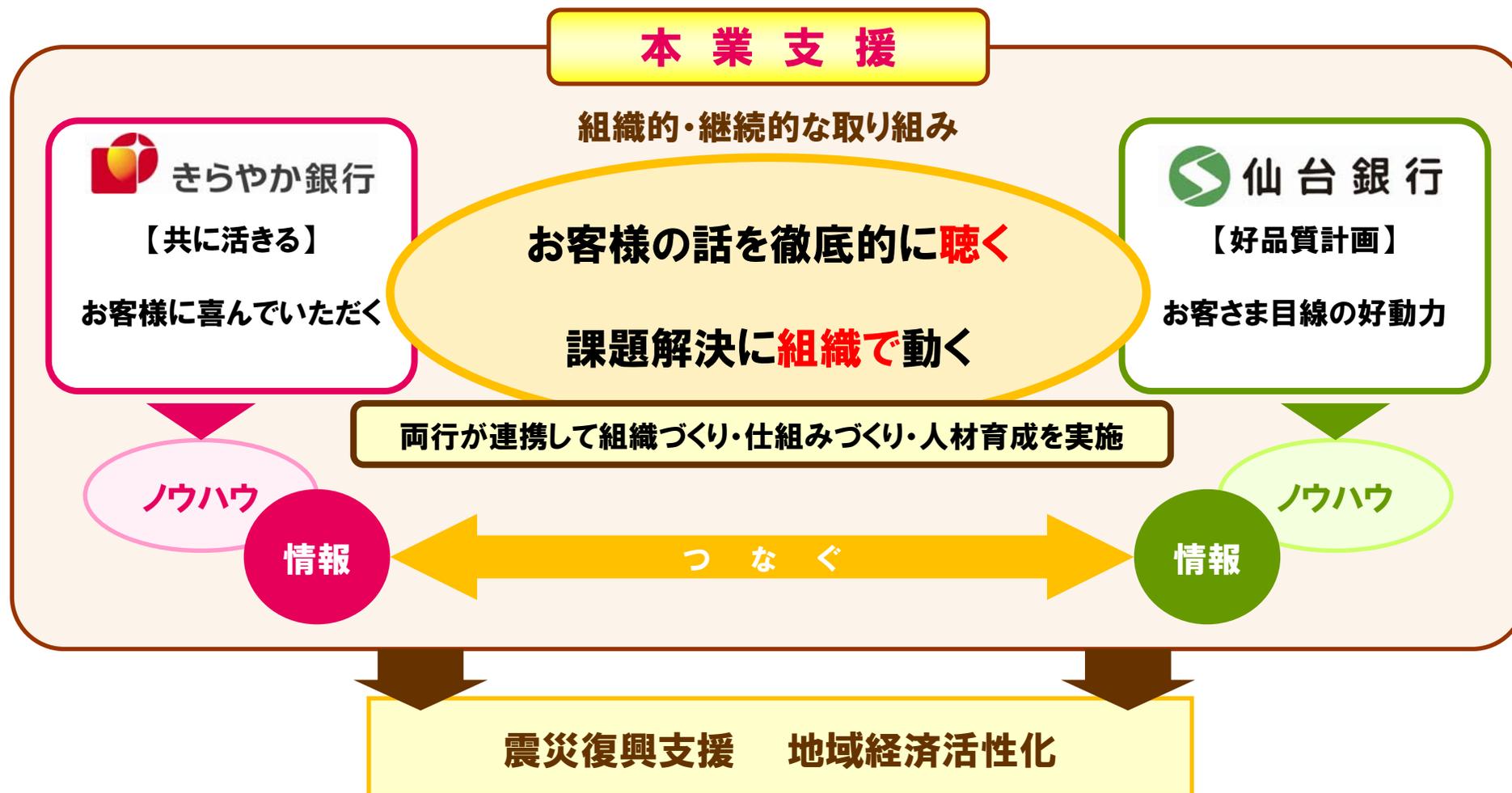
## ①平成25年度グループ経営計画概要

- 長期的視点における戦略展開【**グループの特徴づくり**】をスタートする。
- 短期的視点における施策展開【**収益力の改善・強化**】に取り組む。
- 平成27年5月の基幹系システム統一を視野に入れ、【**グループ経営効率化**】への準備を進める。



**【グループの特徴づくり】＝「本業支援」の組織的・継続的な取り組み**

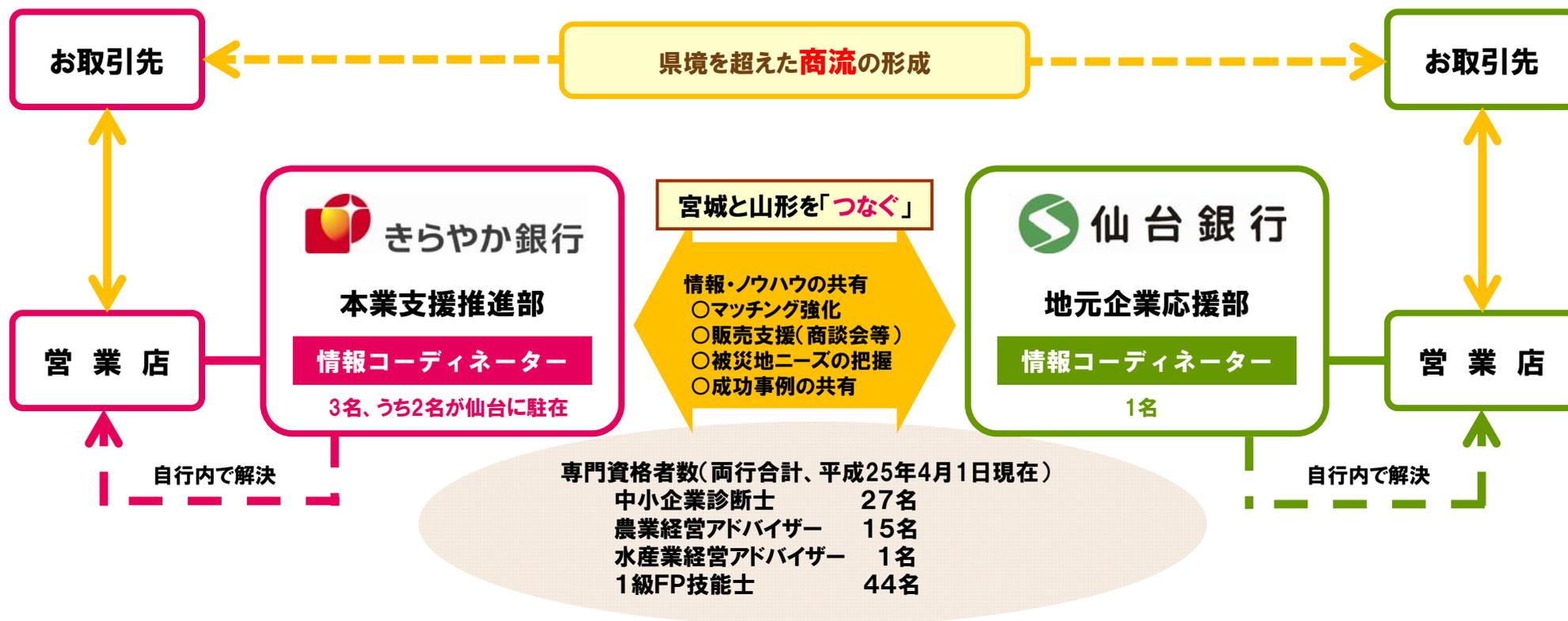
じもとグループは、人材育成や組織づくりを計画的に進め、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、お客さまへ「本業支援」を長期的に展開してまいります。お客さまの経営課題を徹底的にお聴きし、グループをあげて課題解決に向けて取り組み、復興支援やビジネスマッチング等を通じて、地域経済の復興と発展に貢献してまいります。



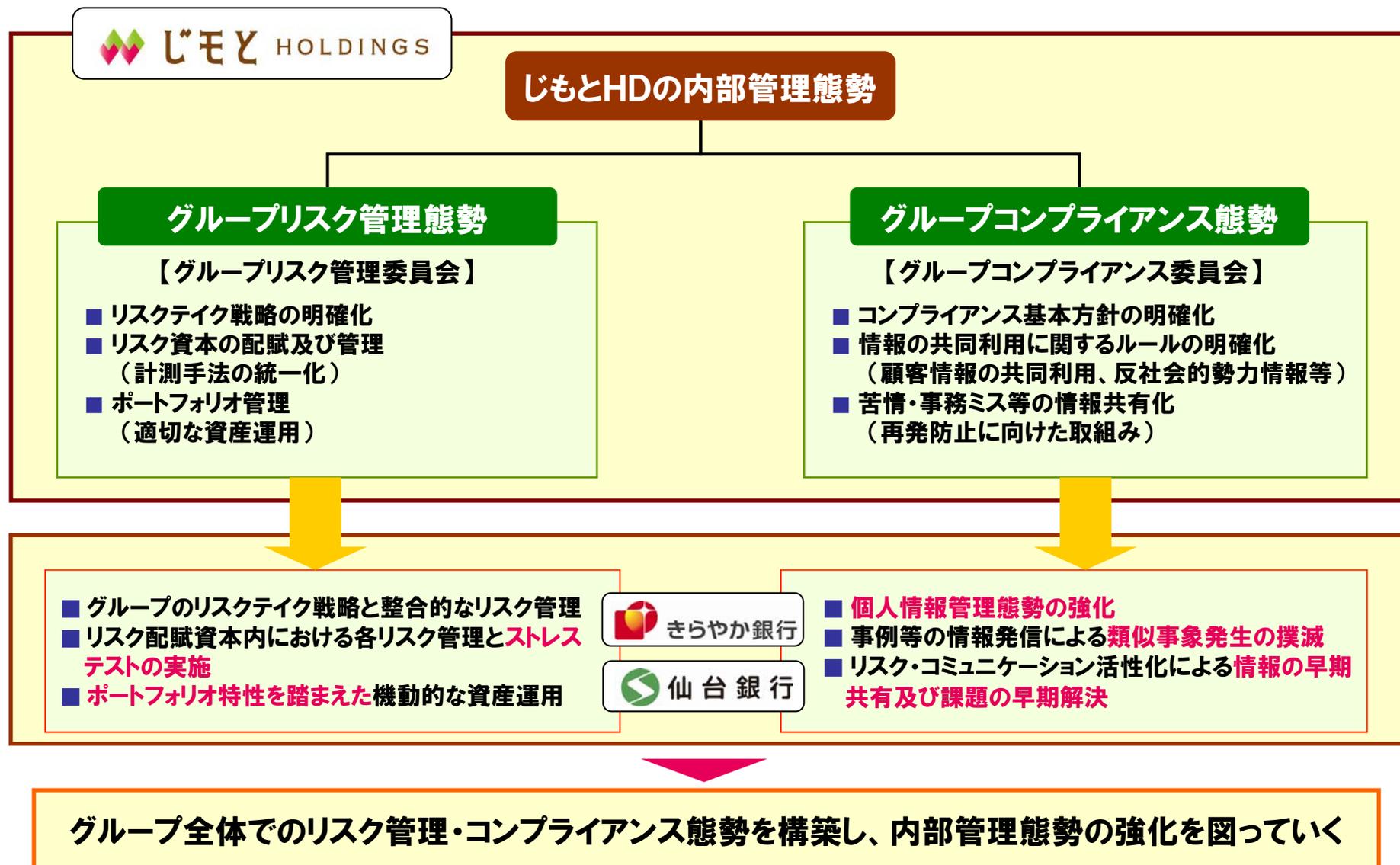
### ③じもとグループの特徴づくりに向けた具体的な取組み

#### 「本業支援」の展開のための態勢整備

- 【組織づくり】・両行の本部内に**情報コーディネーター**を配置。平成25年4月より**きらやか銀行の2名は仙台に駐在し**、**仙台銀行との情報連携を強化**。  
・本部内に**専門知識を有する人材を配置し**、両行のノウハウを融合。
- 【仕組づくり】・営業店からの事業ニーズに関する情報は本部の情報コーディネーターに集約、相手行からの情報は情報コーディネーターから全営業店に展開される仕組みで、お取引先のニーズに**スピーディーに対応**。  
・両行の情報コーディネーターによる定期的な協議を実施し、適宜運用状況の改善を図る。
- 【人材育成】・課題解決型の人材を育成するための**両行共同研修会**を開始(平成25年6月～)。  
・本部の法人融資推進専担者と営業店職員の帯同訪問によるOJTの実践



じもとグループの特徴づくりと並行して、グループとしての内部管理態勢の強化に努める



【参考】じもとホールディングスの預貸金状況(平成25年3月末)

預金(譲渡性預金含む)

【単位:億円】

	銀行	残高
1	七十七	77,500
2	東邦	44,348
3	岩手	32,963
4	秋田	23,993
5	青森	23,320
6	フィデアHD	23,031
	北都	11,596
	荘内	11,434
7	じもとHD	22,054
	きらやか	12,414
	仙台	9,640
8	山形	20,987
9	みちのく	18,631
10	北日本	13,009
11	東北	7,180
12	大東	7,069
13	福島	6,479

貸出金

【単位:億円】

	銀行	残高
1	七十七	37,708
2	東邦	24,669
3	フィデアHD	16,152
	荘内	8,645
	北都	7,507
4	岩手	16,112
5	じもとHD	14,891
	きらやか	9,318
	仙台	5,573
6	青森	14,740
7	秋田	14,376
8	山形	13,338
9	みちのく	12,812
10	北日本	8,962
11	東北	5,051
12	大東	4,579
13	福島	4,536

預金は東北地銀13行中7位

貸出金は東北地銀13行中5位

※ 本比較資料で使用している数値は、平成25年3月期の決算短信(単体)を参考に記載しております。

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス  
総合企画部

TEL:022-722-0011(代表)  
<http://www.jimoto-hd.co.jp>